

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第358号

08年04月27日発行

怒りのパレードに75名が参加

後期高齢者医療制度は中止しろ

4月19日、北品川から鮫洲公園までの旧東海道を区民のみなさんと一緒に「後期高齢者医療制度は中止しろ」とパレードをおこないました。

厚生省は75歳以上を一律にとんでもない定義

①病気がちである

②認知症が多い

③いずれ死期を迎える



医療制度に「姥捨て山」をつくってはなりません

パレードには「怒」のプラカードを掲げて地域のみなさんが結集しました。

現在75歳を超えるみ

なさんは、悲惨だった

第二次世界大戦に青春

時代をささげ、焼け野

原から今の日本を築き

上げた方々です。こ

したみなさんに「医療

も介護も安心して下さ

い」というのが政治の

役割です。

人は誰も年をとりま

す。若い頃は元気でも、

高齢になれば、いろい

ろな病気が出てきます。

そういう高齢者を別建

ての医療保険とするこ

とには、何の道理もあ

りません。ヨーロッパ

諸国など「国民皆保険」

が確立している国のな

かで、年齢で被保険者

を切り離し、保険料や

医療内容に格差をつけ

ている国はありません。

しかも、自公政権が

導入した「後期高齢者

医療制度」は、メデイアなどが「姥捨て山」と呼ぶように、「医療費がかかる」といって

高齢者をじゃま者あつかいし、くらしも健康も破壊していく最悪の制度です。

団塊の世代がターゲット

高齢者への医療を抑制することは、「現役世代のため」などといいますが、とんでもないことです。

政府の導入のねらいははっきりしています。

この制度がもつとも

「威力」を発揮するのは「団塊の世代」が

「後期高齢者」となっ



もちろん、将来、高齢

者となるすべての国民

から、医療を奪い取る

改悪です。また、高齢

者を扶養している現役

世代にも、重い負担が

のしかかることになり

ます。



命治療を行わない」と

いう誓約書をとったり、

「終末期」の患者に

「在宅死」を選択させ

て退院させた場合には、

病院への診療報酬を加

算し、いっその「病

院追い出し」をすすめ

ようということです。

高齢者いじめは、こ

れにとどまりません。

70〜74歳の窓口負担

が、1割から2割へと

2倍に引き上げられま

す。また長期療養の人

が入院する「療養病床」

を23万床削減し、病院

追い出しをすすめる改

悪も、本格化します。

医療制限の嵐

新制度では、74歳以

下の人は、「医療の値

段」が別建てです。

「後期高齢者」の診療

報酬を「包括払い（定

額制）」とし、保険が

使える医療に上限をつ

けてしまうことです。

そうなれば、「後期高

齢者」に手厚い治療を

おこなう病院は赤字と

なり、医療内容を制限

せざるを得なくなりま

す。また、「過剰な延



無料法律相談会（生活相談は随時）

ところ すすらん通り事務所

日時 5月26日（月）

午後6時〜8時



前田あつし0157-421-0010までお電話をください。